

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズハウスつむぎ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日	～	令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 1日	～	令和 8年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内に4つの事業所があり連携し合い、つながりを持った支援を提供できる	事業所をまたいだ交流や合同イベント、情報共有、療育についての話し合いや研修等	職員のジョブローテーション機会を設け、こどもの発達年齢や発達段階、特性理解を深め、職員のスキル向上を図る
2	セラピストや外部アドバイザーから専門的な助言や提案を受けられ、こどもたちへの支援内容や個別の取り組みが充実している	助言やアドバイスに基づいて環境調整を行い、こどもたちの状態や特性を共有して職員全体の支援スキルを向上させている	こどもたちの特性や状態に合わせてさらに視覚支援や構造化を進め支援環境を整える
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者やきょうだい同士の交流機会が少ない	毎年様々な形で親会を開催しているが、保護者に対するアンケートやリサーチを十分に行えておらず参加者が振るわない	気軽に参加できるような企画の検討や、保護者への希望アンケートを実施する
2	地域の園や学校、学童のこどもたちとの交流機会が少ない	地域の小学校や公園での交流はあるが、特に園は近隣にないため交流できていない	園庭開放や園のイベント等で交流機会を持ってないか検討する
3	外部に向けての事業所アピールが弱い	日々の活動やプログラムは定期的に発信しているが、アピールする意識が弱い	発信内容や発信の仕方について職員の意識を高め、保護者に向けても面談や送迎の際に自社SNSについて宣伝する